

試験研究成果普及情報

部門	果樹	対象	普及
課題名：極早生のニホンナシ新品種「蒼月（そうげつ）」の特性			
〔要約〕「蒼月」は（国研）農研機構果樹茶業研究部門が育成した極早生の青ナシ品種である。「幸水」と比較すると、収穫盛は2週間程度早く、1果重はやや重く、糖度は同程度であり、硬度は低い。			
キーワード [※] ニホンナシ、新品種、樹の特性、地域適応性、果実品質			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター 果樹研究室 協力機関 （国研）農研機構果樹茶業研究部門		
実施期間	2018年度～2022年度		

〔目的及び背景〕

（国研）農研機構果樹茶業研究部門ではナシの品種育成を行っており、有望な系統については各産地で系統適応性検定試験を実施し、適応性を調査している。令和3年11月29日に品種登録出願が公表された「蒼月（そうげつ）」は極早生の青ナシであり、主要品種「幸水」の前に販売可能な品種として有望と考えられることから、本県における特性を明らかにする。

〔成果内容〕

- 1 「蒼月」の開花盛は4月5日で「幸水」と同じ時期である（表1）。樹勢は中で、枝の発生密度及び短果枝の着生は少、腋花芽の着生は中である。
- 2 収穫盛は7月下旬と「幸水」より2週間程度早い（表2）。1果重は400g程度と「幸水」よりやや重い。
- 3 果実の硬度は4.41bsと「幸水」より低く、糖度は13.1%、pHは5.5と「幸水」と同程度である（表3）。
- 4 果実生理障害は見られない（表4）。
- 5 以上のように、「蒼月」は、類似する品種のない極早生の青ナシであることや、「幸水」と同程度以上の果重があり良食味であることなどから、県内での普及性が高いと見込まれる。

〔留意事項〕

「蒼月」は、他県での栽培でみつ症や裂果が僅かに発生するという報告がある。

[普及対象地域]

県内全域のニホンナシ生産者

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表1 「蒼月」と対照品種「幸水」の樹の特性（令和3～4年の平均）

品種	開花期（月/日）			樹勢	枝の発生密度	短果枝の着生	腋花芽の着生
	始	盛	終				
蒼月	4/2	4/5	4/11	中	少	少	中
幸水	4/3	4/5	4/12	中	中	少	中

注1)「蒼月」は平成29年2月に、マンシュウマメナシ台に接ぎ木した1年生苗木を定植したもので、1樹について調査

2)「幸水」は平成17年12月に定植した成木

表2 「蒼月」と対照品種「幸水」の収穫期、収量、1果重及び果実外観（令和3～5年の平均）

品種	収穫期（月/日）			1果重（g）	果実外観		
	始	盛	終		揃い	果形	さび
蒼月	7/24	7/29	8/2	398	中	円	少(全面)
幸水	8/2	8/11	8/18	363	中	扁円	-

表3 「蒼月」と対照品種「幸水」の果実品質（令和3～5年の平均）

品種	硬度（lbs）	糖度（Brix）	pH	渋味	香気	日持ち性（日）
蒼月	4.4	13.1	5.5	無	微	5
幸水	5.0	13.0	5.5	無	無	5

表4 「蒼月」と対照品種「幸水」の果実生理障害（令和3～5年の実績）

品種	軸折れ	心腐れ	みつ症	硬化障害	生理的裂果
蒼月	無	無	無	無	無
幸水	無	無	無	無	無



写真1 「蒼月」若木（6年生）



写真2 「蒼月」果実

[発表及び関連文献]

令和5年度試験研究成果発表会（果樹部門）

[その他]